

# 宮島歴史探索散歩 参加者募集

## 「大正浪漫の厳島から」 海だった海岸通り～幻の宮島ホテルへ往く！

### ★ 内 容

あの物理博士のアインシュタインと漫画記者だった岡本一平(岡本太郎の父親)が、大正11年に厳島へ訪れる。チェコのヤン・レツルが設計した宮島ホテルに宿泊する。よく目にするアインシュタインが、舌をペロツと出した写真に、ひょうきんな人物だったのだろうか?岡本一平が描いた画に厳島で、凧あげで遊ぶ着物姿の少年たちの凧の糸が絡んだそうだ。それに遭遇したアインシュタインは、その凧の糸をほぐして自分が凧あげをしているが、なんと、そこは要害山の山裾で海だった。大正期の厳島の海だった海岸通りや西松原は何故、埋め立てされたのか?幻の宮島ホテルの前身だった白雲洞の旅館・ミカドホテルなど大正期の厳島を往く。

★ 開催日 5月23日(土) 雨天決行  
10:00~12:00を予定

★ 講師 中国新聞文化センター講師  
船 附 洋 子 氏

★ コー ス 宮島棧橋～厳島神社～みやじま社の宿付近で解散

★ 参加料 大人：1,500円  
小人：1,000円(6~12歳)  
(※厳島神社昇殿料は参加費に含まれます)

★ 申込み 定員20名  
お電話でご予約ください。  
当日参加も承ります。  
宮 島 観 光 協 会  
(0829)44-2011

★ 主 催 一般社団法人 宮島観光協会



◎花田裕



◎谷朋子蔵